

<正誤表> 重要箇所 の誤植を、下記の通り訂正してお詫びいたします。

ページ	箇所	誤	正
p.7	下1.4	印紙論	→ 品詞論
p.11	下1.2	冬no…	→ 冬の…
p.15	l.10	(10)言語学研究会	→ (11)言語学研究会
p.18	l.12	20)は	→ 21)は
	l.14	21)では	→ 22)では
	例24	……例文22)	→ ……例文23)
		……例文23)	→ ……例文22)
	下1.3	4)では	→ 25)では
下1.2	5)では	→ 26)では	
p.34	l.7	(22)(23)	→ (18)(19)
p.49	下1.7	上の表で挙げた～の6種は	→ 40ページの表で挙げた～の4種は
p.99	例347	暗いところで本を読んでは～	→ * 暗いところで本を読んでは～
p.108	l.9	③の例でも同様である。	→ 第三の例でも同様である。
	l.18	④の例も同じである。	→ 第四の例も同じである。
p.110	例413	し、そのうちの	→ もし、そのうちの
p.137	l.22	三尾砂(1952)によれば	→ 国立国語研究所(1964:170)によれば
p.187	注	田中寛(1988)	→ 田中寛(1989)
	注	戸村佳代(1988)	→ 戸村佳代(1989)
p.214	下1.3	言って人に	→ 言う人に
p.258	l.6	尾方恵理	→ 尾方理恵
p.259	l.18	(参考文献に追加)	→ 此島正年(1973)『国語助詞の研究—助詞史素描』桜楓社
p.260	l.15	日本語教育125号高梨信乃(1995)～	→ 高梨信乃(1995)以下を分離し19行目に移動
	下1.1	(参考文献に追加)	→ 趙順文(1988)「「から」と「ので」—永野説を改釈する一」『日本語学』第7巻第7号
p.261	l.1	『講座日本語学10 外国語との対照Ⅰ』	→ 『講座日本語学11 外国語との対照Ⅱ』
	l.6	____(1993)	→ ____ (1991)
	l.8	戸村佳代(1986)	→ 戸村佳代(1989)
	l.12	豊田豊子(1979)	→ 豊田豊子(1977)
	l.13	____(1978a)	→ ____ (1978)
	l.14	____(1978b)	→ ____ (1979a)
	l.15	____(1978)	→ ____ (1979b)
p.262	下1.13	(参考文献に追加)	→ 野田尚史(1986)「複文における「は」と「が」の係り方」『日本語学』第5巻第2号
p.265	l.3	(参考文献に追加)	→ 村田美穂子編(2005)『文法の時間』至文堂
p.275	下1.1	佐治敬三	→ 佐治圭三